

## 第 113 回 東葛しぜん観察会

### 新緑の森を歩こう！ 船橋県民の森

新堀昌邦（白井市）

日時：2015 年 5 月 10 日（日）9：30～12:00 天気：快晴

場所：船橋県民の森 セラピーコース（船橋市）

参加者：一般 16 名、指導員 20 名＋1 名（協議会）

担当指導員：新堀昌邦、小島紀彦、守永博夫

天気は快晴、森の中を歩くには丁度良い季節、今日の観察会は、森の中に 1.1 km のセラピーコースが設定されていて、安全にゆっくりと新緑の森の中を観察することを重点に観て歩く事でした。スタートは、大木のトチノキの観察から始まりました。冬の間は、花芽は堅い皮でガードされていて、周りがベタベタしていて、冬の寒さから身を守っていましたが、今の季節は、きれいに花も咲き、その花にミツバチが来て活動しているのが観察されました。枝から葉身が大きく開いて、沢山の葉が伸びていました。参加者にこの葉は枝から、伸びているところから、一枚の葉っぱと説明すると、皆さん驚いていました。

参加者を次の案内場所へ誘導。今日の一番のメインはやはりキンラン・ギンランを観る事、千葉県では絶滅危惧種。4 月 29 日に下見した時は、森全体に綺麗に咲いていたので、今日まで花がもってくれるかが心配でしたが、森の中を歩くと最初に目に入って来たのがキンランでした。参加者に説明、皆さん声をあげて“観られた”と嬉しい反応。キンランは最盛期から丁度、半分ぐらいの咲き方で残っていました。キンランはラン菌根と呼ばれる独特の菌根を作り、生きたコナラなどの樹木根に共生している外生菌から栄養を貰っている事を参加者に伝えました。そこで、キンランが生きていく為には、生きた樹木・菌根菌・キンランの 3 者が必要なので、家に持って帰って植えても、家では育たない事を分かって貰いました。森の中から「ウグイス」の鳴き声、良く響き良い声で、鳴いていました。参加者からも、絶賛の声が聞かれました。

コースの中ほどまで来ると、ナルコユリ、ハウチャクソウ、チゴユリ、ヤマユリ等の群生地。この季節では、ナルコユリとハウチャクソウの花が咲いていました。季節によって花期が違うので、未だヤマユリは見られませんが、秋には目を楽ませしてくれる事でしょう。チゴユリはもう終わってしまい見られませんでした。

今日は、いろいろな植物や樹木を見て歩きま、参加者に感想を聞きました。

- ①「キンラン」が見られたこと
- ②ゆっくりと森の中を歩いたこと
- ③エノキ・トチノキ、ヒノキ・サワラ、ウラシマソウ・マムシ草などが  
見られて 感動しました。

アンケートの中でも、今日は、楽しく観察会が出来、また、大変専門的な説明でも良く分かりましたとの事でした。アンケートの中には、このような催しものは、期待しているので、ぜひ参加したいという回答が多数ありました。



ハウチャクソウ・ヤブコウジを観る